

平成25年度少年消防クラブ交流会

防災課

8月7日から9日に「平成25年度少年消防クラブ交流会」が徳島県で開催され、近畿、中国、四国、九州・沖縄地方の少年消防クラブ18クラブ（クラブ員102名、指導者34名、合計136名）が参加しました。

少年消防クラブ交流会は、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から被災経験、災害教訓、災害への備えなどについて学ぶことにより、将来の地域防災の担い手育成に資することを目的として、消防庁が平成24年度から実施しているものです。

※少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、少年少女で結成されている組織で、平成24年5月1日現在、全国に約5千の少年消防クラブがあり、約42万人のクラブ員が活動しています。

交流会の1日目は、参加者全員の自己紹介と日頃の活動内容について各クラブから紹介が行われました。

一人暮らしのお年寄り宅の防火訪問を30年以上続けているクラブ、消防団や婦人防火クラブと連携して巡回を行っているクラブ、着衣のままプールで救出訓練を行っているクラブなどがあり、普段あまり知る機会がない他のクラブの活動について、参加者は真剣に耳を傾けていました。

2日目は、徳島県消防学校において、ヨーロッパ青少年消防オリンピックの競技種目を参考に、ホースの搬送やロープの結索などを取り入れた訓練をクラブ対抗により行いました。参加クラブの中には、地元の消防署や消防団の方から指導を受けて練習に励んできたクラブもあり、これまでの練習の成果を発揮するよう一生懸命取り



合同訓練の様子

組んでいました。

昼食後、消防学校に隣接する徳島県立防災センターに移動し、地震体験室や暗闇・煙体験室で地震や火災の恐怖を疑似体験したり、さまざまな災害の発生の仕組みについて学習したりしました。

その後、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷に移動し、国の重要無形民俗文化財に指定されている「阿波人形浄瑠璃」を鑑賞しました。上演後は、実際に人形を動かすことができ、伝統芸能を間近で学習しました。

夕食後は、「お国自慢」と題して、各クラブの地域紹介を行いました。各地の特色ある紹介に参加者は興味深く聞き入っていました。

3日目は、徳島県那賀町消防団の方々から平成16年の台風10号等における活動について、お話を伺いました。実体験に基づく緊張感あふれるお話や教訓などについてお聞きし、消防団の活動について理解を深めました。



消防団の方々との交流

終わりに、地元徳島県の阿波踊り連「娯茶平連」の方々に、阿波踊りの実演と踊り方についての御指導をいただき、参加者全員で阿波踊りを行いました。なかなか上手に踊ることはできませんでしたが、全員で楽しく踊りました。

今回、参加した少年消防クラブ員の皆さんには、交流会での体験も活かし、少年消防クラブ活動にさらに励み、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとして活躍されることを期待しています。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災係 松澤、中村
TEL: 03-5253-7525